



警告

安全にご使用頂くために
最後までよくお読み下さい。

1. ご使用前に

リアカバーとピストン部が、しっかり締結されているか、必ずロープを点検して下さい。ピストン部を連結しているロープが切れると危険です。異常が認められた時は、直ちにロープを交換して下さい。

2. 準備中はカブラの連結を外す

コーキング材の充填、洗浄、分解等の作業は、必ずカブラの連結を外して下さい。

3. エアーホース

空気圧力用、耐圧 2MPa (20Kgf/cm²) 以上のものでお使い下さい。定期的に老化を点検し、異常が認められた時は新しい物と交換して下さい。

4. エアーホースの接続

接続金具、ホース止め金具は強靱な物を用い、エアが漏れないように締付けて下さい。

5. エアの圧力

0.6MPa (約6Kgf/cm²) 以下の圧力で使用して下さい。

6. エアの開通

レバーに指や、物が触れていない事を確認した後に行ってください。

7. レバーの操作

必ずフロントキャップを確実に取り付けて安全を確認の上、レバーを引いて下さい。 **人には絶対に向けないで下さい。**

8. 保護具の着用

作業時は必ず保護メガネを着用して下さい。

9. 保守、点検

ピストンが摩耗するとフィルムパックを噛み込みやすくなりますので、その際はピストンを交換してからご使用下さい。ネジの焼付け防止の為、シリンダーを取付けの際はネジ部にグリスを塗布して下さい。

10. 保管

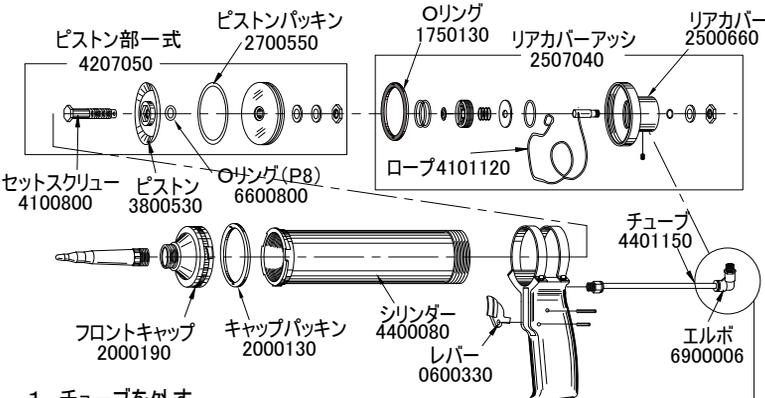
カブラの連結を外し、湿度が低く、関係者以外の手の届かない所に保管して下さい。

11. 分解、調整

ハンドル部の分解、調整についてはメーカーにお申し付け下さい。尚、減圧弁を取り外される時は、**ハンドル下部のネジ(黒)が一緒に外れ、ハンドル内部の部品が散乱する恐れがありますのでご注意ください。**

＜分解方法＞

* ハンドル部(内部)の部品についてはメーカーへお問い合わせ下さい。



1. チューブを外す

右図のエルボ①の部分均等に強く押しながらチューブを引き抜きます。(または、エルボのネジをスパナで外す。)

2. リアカバーを外す

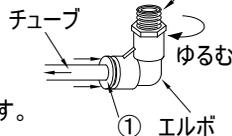
シリンダーを持ってリアカバーを左に回すと外れます。

3. ピストン部一式を抜く

ロープを引くとピストン部一式が一体になって抜けます。

4. ピストン部一式を分解

セットスクリューを外して、汚れた部分を清掃します。



＜組立方法＞

分解した逆の順序で行います。チューブはエルボに深く差し込んで下さい。

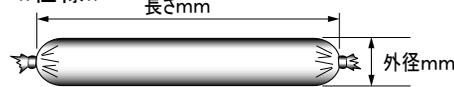
この度は当社の製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

＜用途＞

フィルムパック入りシーリング材等の
射出作業

その他の使用は厳禁!!

＜仕様＞



型式	適用フィルムパック材		全長 mm	質量 kg	使用圧力 MPa	エアホース 内径mm	ホース取付 口金 Rc
	容量ml	外径x長さmm					
YPG-1000F	1000	64x335	447	1.5	max,0.6	6.3	1/4

その他特殊サイズは別途ご相談下さい。

付属品

減圧弁、ニップル(減圧弁組付)、カブラプラグ 20PM(減圧弁組付)
ノズル: コーン(樹脂)5本、黒ツブシ(樹脂)1本



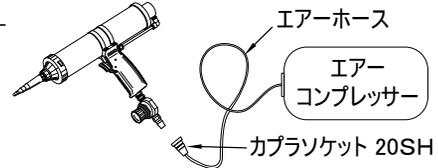
コーン(樹脂) 1000390



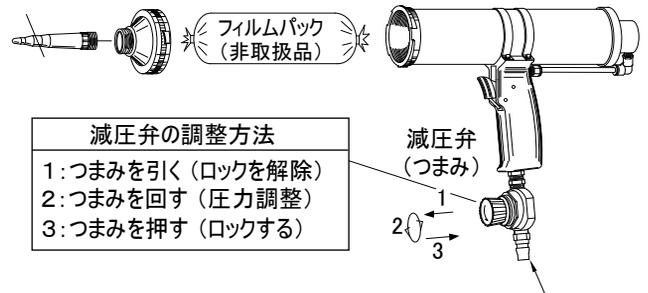
黒ツブシ(樹脂) 1000450

＜準備＞

1. **エアークンプレッサー** 使用圧力 = max, 0.6MPa
流量 = 毎分射出量 × (使用圧力 + 1) × 毎分レバー回数
2. **エアホース** 耐圧 2MPa 以上 内径 6.3mm
3. **市販のカブラ用ソケット 20SH** をご用意下さい。
4. **ノズルのセット** (コーンは適当な位置でカット)
フロントキャップにねじ込みます。
5. **接続**



＜使用方法＞



1. フロントキャップを左に回して取り外します。
2. フィルムパック(袋)をシリンダーの中に入れます。
3. フィルムパック(袋)の先端部をカットします。
4. フロントキャップを装着します。
5. カブラを連結します。
6. レバーを引くと射出します。レバーは一杯に引いて下さい。途中で止めると排気口よりエアが漏れます。
7. 射出速度を調節します。
減圧弁のつまみを引く(右に回すと速く、左に回すと遅くなります。)
調節後はつまみを押し戻してロックします。
8. 作業中はハンドルを回転させないで下さい。(チューブが外れる恐れがあります。)
9. 射出終了後はカブラの連結を外します。
10. フロントキャップを外し材料の空袋を捨てます。
11. 作業終了後はカブラの連結を外してガン汚れた部分を清掃して下さい。

注: ピストンの動きが悪くなった時は、カブラプラグの入口よりタービン油等の潤滑油を10滴位注ぎ、4~5回空動させて下さい。